

## 製品安全データシート

作成日:2000/07/01

改訂日:2011/10/19

MSDS No.11008

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : A D A M  
会社名 : フナコシ株式会社  
住所 : 東京都文京区本郷 2-9-7  
電話番号 : 03-5684-5107  
FAX 番号 : 03-5802-5218  
整理番号(MSDS No.) : 11008

### 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 皮膚腐食性/刺激性:区分 2  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:区分 2A

GHS ラベル要素 :



危険

危険有害性情報 : 皮膚刺激  
強い眼刺激  
飲み込むと有害のおそれ

注意書き :

- 1 . 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- 2 . 容器から出し入れするときは、こぼれないようにして下さい。
- 3 . 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用して下さい。
- 4 . 取扱い後は、手洗いを十分行って下さい。
- 5 . 一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

### 3. 組成、成分情報

化合物 :	9-Anthryldiazomethane
	ADAM
分子式 :	C15H10N2
分子量 :	218.25
官報公示整理番号(化審法・安衛法) :	---
CAS No.	10401-59-9
危険有害成分 :	---

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、充分にうがいをさせる。直ちに医師の手当を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 多量の水で十分に洗い流す。炎症を生じた時は医師の手当を受ける。  
目に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分以上洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火剤 :	粉末、二酸化炭素、泡(アルコール泡)、大量の水
火災時の特有危険有害性	:火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム(またはガス)が発生するため、消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。
特有の消火方法 :	火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護 :	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	:屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 :	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和 :	火気厳禁とし、漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水を用いて洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 :	火気厳禁とし、高温物、スパークを避け、強酸化剤との接触をさける。
注意事項 :	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する
安全取扱い注意事項	:吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

### 保管

適切な保管条件 :	容器は遮光し、密閉して空気との接触を避け、-20度以下で保管する。 保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。過塩素酸、過酸化ナトリウム、過酸化水素、クロム酸、硝酸などと一緒に保管しないこと
技術的対策 :	換気の良い場所で容器を密閉し保管する。 火気厳禁
混触禁止物質 :	強酸化性物質、過塩素酸、過酸化ナトリウム、過酸化水素、クロム酸、硝酸、火源の近くに保管しない。

安全な容器包装材料 :ガラス

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度 作業環境評価基準 : 設定されていない

### 許容濃度

OSHA PEL : 設定されていない  
ACGIH TLV(s) : 設定されていない  
日本産業衛生学会 : 設定されていない

### 保護具

呼吸器の保護具 : 保護マスク、防毒マスク  
手の保護具 : 保護手袋  
目の保護具 : 保護眼鏡、側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型)  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護靴

---

## 9. 物理的及び化学的性質

形状 : 固体  
色 : 赤褐色  
臭い : 得意臭  
pH : データなし  
融点 : データなし  
沸点(初留点) : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
爆発範囲(上限・下限) : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
比重 : データなし  
溶解度

溶媒に対する溶解性 : 水に易溶。

n-オクタノール／水分配係数 log Po/w : データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

安定性 : 安定  
危険有害反応可能性 : データなし  
避けるべき条件 : 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発火源  
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、窒素酸化物

---

## 11. 有害性情報

急性毒性 : データなし  
皮膚腐食性・刺激性 : データなし  
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし  
生殖細胞変異原性 : データなし  
発がん性 : データなし

生殖毒性 : データなし  
特定標的臓器・全身毒性、単回暴露: データなし  
特定標的臓器・全身毒性、反復暴露: データなし

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
魚毒性 : データなし  
残留性／分解性 : データなし  
生体蓄積性 : データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。  
上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の  
廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当  
品名 : 非該当  
国連分類 : 非該当  
容器等級 : 非該当  
海洋汚染物質 : 非該当  
注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実におこなう。

---

## 15. 適用法令

消防法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
労働安全衛生法 : 非該当  
船舶安全法(危規則) : 非該当  
航空法 : 非該当  
海洋汚染防止法 : 非該当  
化学物質管理促進法(PRTR法) : 非該当

---

## 16. その他の情報

引用文献 :

1. GHS モデル MSDS 情報 [http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds\\_index.html](http://www.jaish.gr.jp/anzen/gmsds/gmsds_index.html)
2. 産業中毒便覧 後藤稠 他編 医歯薬出版(株)(1977)
3. 危険物毒物 処理取扱いマニュアル 海外技術資料研究所(1985)
4. The Merck Index 13th Edition Merck&Co.Inc(2001)
5. Analytical Science, 1987, 3, 171-174.
6. Chem. Pharm. Bull., 1986, 34, 2885-2889.

本データシートは試薬に関する一般的な取扱いを主に記載しており、試薬以外としての取扱い及び大量取扱いに関しては考慮されていない場合があります。また、現在での最新の情報を記載しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。  
新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。

記載されている値は安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。